

里山学のすすめ

〈文化としての自然〉再生にむけて

龍谷大学里山キャンパスでの実践から生まれた本。
 里山的自然とは何かを明らかにし、里山維持の伝統的な技法と作法を解明してそれを現在に生かすヒントを探求、将来にわたって保全していくための里山学を提唱。自然科学と人文社会科学、専門家と市民のバリアーを越えて協働する実践学。

丸山徳次 (龍谷大学文学部教授) ◎編
 宮浦富保 (龍谷大学理工学部教授)

A5判 並製 カラー口絵 8頁+388頁
 定価 2310円
 (本体価格 2200円+税 5%)

目次

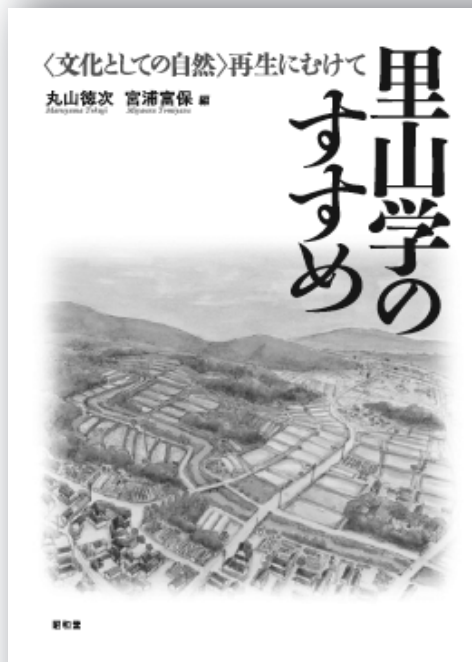
序 今なぜ「里山学」か？

I 里山のいま、むかし
 里山の民族生物学／森と人の関わり—滋賀の里山／里山が生んだ日本の植物文化—江戸の人びとの暮らしのなかに生きた自然

II 里山と人の関わり
 里山の環境倫理—環境倫理学の新展開／日本語にみる自然観／縄文人の里山利用との接点—奈良県奥吉野のアク抜き技術から／近代化と河川環境の変貌—長良川河口堰問題から「里川」を考える／中国雲南省・少数民族の山の利用—ハニ族の信仰と山の利用を中心として／里山所有の過去・現在・未来／[コラム] 近代日本の入会林野／仏教と森との関わり

III 里山の生きものたち
 水辺環境と里山—身近な生きものと自然文化の盛衰／クモからみた里山／サルからみた里山／[コラム] センサーカメラで調べた里山のけものたち／奥山に向かう里山の動物たち／里山林と気候

IV 里山の保全と地域共生
 山を持つことの苦と楽しみ—大分県山国町における経験から／里山保全のための道具類／パートナーシップによる里山づくり／[コラム] 森林の保全・整備のための新たな政策—京都モデルフォレスト運動の推進



図書出版 **昭和堂** 〒606-8224 京都市左京区北白川京大農学部前 TEL 075-706-8818 FAX 075-706-8878
<http://www.kyoto-gakujutsu.co.jp/showado>

全国の書店および大学生協で取り扱っております。小社ホームページでもご注文を承っております。

昭和堂	月 日	里山学のすすめ —〈文化としての自然〉再生にむけて		冊
	番 線 印	丸山徳次・宮浦富保 編 定価 2310円 ISBN978-4-8122-0738-3		
		お名前		
		ご住所 〒 <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/> - <input style="width: 40px;" type="text"/> <input style="width: 40px;" type="text"/>		
	ご担当者名：	お電話番号 ()		